

これまでに臓器摘出を伴う腹腔鏡手術（手術支援ロボット使用含む）を受けた患者さんへ  
【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院消化器外科では<腹部低侵襲手術における小開腹創閉鎖法が術後腹壁癒痕ヘルニア発症にあたる影響に関する研究>という臨床研究を行っています。

この研究は、臓器摘出のための腹部小切開創の閉鎖に使用するデバイス（糸針）によって腹壁癒痕ヘルニア発症に差があるか検証すること、を主な目的としています。

そのため、過去に胃・大腸・肝臓・膵臓に対する摘出手術を受けた患者さんのカルテ等の治療データ、CT画像のデータ等を使用させていただきます。

○対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦 2021 年 1 月 1 日から西暦 2024 年 12 月 31 日
データ収集期間	審査委員会承認後から西暦 2026 年 4 月 1 日

○調査研究の対象

これまでに胃、大腸、肝臓、膵臓疾患で摘出手術を受けた患者さんのカルテ等の治療データ、CT画像のデータ等。

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

○個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院 消化器外科

○本研究の利益相反について

この調査研究は、神戸市立医療センター西市民病院消化器外科の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、2026年4月1日までにお手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

神戸市立医療センター西市民病院 消化器外科

研究責任者：本間周作 / 連絡担当者：口分田堯

TEL：078-576-5251（代）